

母 子 (油彩) 伊 東 将 夫



母子というのは、長い間の私のテーマです。人間関係のうちその極限にあるゆるぎない親と子の関係こそ真に信頼されるものであらうと信じたいのです。戦争とか平和の問題もこの原点から問い直されるべきで思想や経済などの上部機構の横暴を許すことはできません。

母子はこの人間の、のっぴきならない結びつきをどう造形化するかに焦点を合わせ、他の一切の不純物を排除しようと努めたものです。背景の黒は無機的に処理をしました。天と地の単純な世界に守られるべき母子の緊張した形態をうきぼりにしたつもりです。

個展、札幌時計台文化会館展出品 50号F